

デジタルメディアと連携した2nd START 「信頼」と「誠意」と「笑顔」を モットーに、一生一度の作品を

西桜印刷

西桜印刷(港区東麻布、両角治
恵社長、03・3568・2543)
は、現在の「築地虎ノ門トンネル」
虎ノ門出入口の真上にあたる場所
で、昭和42年に設立された。昭和60
年、新社屋完成に伴い東麻布に移
転。競合の激しい都心で、POPや
ディスプレイなど、商業印刷の周
辺領域を含む総合印刷サービスを
展開してきた。

ここ数年、ネット受注などで短
納期・低価格の印刷サービスを提
供する業者も増えているが、同社
取締役は「セルフガソリンスタ
ンド同様、目先の利便性で仮にお客
様がいったん離れたとしても、必
ず戻ってくる」と自社のサービス
に自信を見せる。単なるデータの
「出力屋」ではなく「印刷屋」として
のプロの意地、請けた仕事に決し
て妥協はしない。お客様のものとへ
何度も足を運び、細部まで打ち合
わせをくり返して「満足」や「笑顔」
につながる仕事を徹底する。その
結果、依頼主は「お客様」から「フ
ァン」に変わるのだという。西桜印刷



作業中の工場内



両角社長を囲んで、従業員の皆さん

十訓第一条「すべての仕事は、依頼
主にとって一生一度の作品と肝に
銘じよ」からも、一つひとつの仕事
に対し「お客様本位」を追求する同
社の姿勢が窺える。

また、同社は商業印刷のほか、
通信教育のテキストをはじめ、大
学から小中学校に至るまで各種教
育機関の教材を長年にわたり手が
けている。短大や幼児教育の研究
所で教鞭をとる役員が先導して、
教育現場を包括的にサポートする
「学校支援事業部(仮称)」の立ち上
りも計画されている。

印刷業界の現況は厳しいが、同
社は逆に今こそ「2nd START」と
位置づけ、QRやAR、NFCなど
を通じたモバイル端末と連携した
り、既存のリソースを活用した印
刷製品の企画・製造を行うといっ
た、積極的な事業展開に取り組ん
でいる。